

ボツワナ共和国月報(2024年3月)

主な出来事

【内政】

- 総選挙に向けた与野党の動き
- 独立選挙管理委員会による選挙人登録の追加実施
- 憲法改正案の公表

【外政】

- マシシ大統領、ケニアにて第6回国連環境総会に出席
- マシシ大統領、ザンビア訪問
- エストニア大統領、国賓としてボツワナを訪問
- ナミビア大統領のボツワナ訪問
- バハマ首相のボツワナ訪問
- ボツワナ代表团、欧州で象牙猟禁止に反対するロビー活動を展開

【経済】

- S&P格付けの公表-ソブリン格付けは投資適格、見通しは安定的-
- セレベ・ピクウェ柑橘類プロジェクト-農産品輸出に向けた一里塚-
- ボツワナ初の石炭ガス火力発電所が操業へ-電力輸出を視野-
- 国債発行上限額の引上げ-300億プラから550億プラへ-
- AfCFTA新貿易ルール-4月1日より施行-
- カロエ・ダイヤモンド鉱山地下拡張事業化調査最新結果-鉱山寿命の延長に向け-
- 2023年通期GDP(暫定値)-対前年比実質GDP2.7%増
- 2月インフレ率は3.9%-前月から変動なし-
- 貿易統計-5か月連続の貿易赤字-
- 国際商品貿易統計-2023年貿易収支は赤字転落-
- 電力統計(2023年末現在)
- 鉱業生産統計(2023年末現在)

【当館関連イベント】

- 帰国留学生との懇談会及び新規留学生壮行会の実施
- 小学校幼児教育棟建設計画の契約署名
- BUANと北海道大学による学術交流協定(MOU)

【内政】

- 総選挙に向けた与野党の動き

与野党の予備選は、与党BDPが5月、最大野党連合UDC傘下のBNFとBPFが4月の実施予定である。(その後報道によれば、BNFの予備選は延期となった。)

○独立選挙管理委員会による選挙人登録の追加実施

独立選挙管理委員会(IEC)は3月15日までの追加選挙人登録の結果を受け、第3回選挙人登録期間を5月20日～31日に実施すると発表した。これまでのところ、合計80万人以上の有権者が登録を済ませているが、IECが目標とする最低130万人にはまだ遠く及んでいない。

○憲法改正案の公表

12日、憲法改正法案が公表された。改正案には労働権等第二世代の権利の法定、元大統領が他の政治的地位に就く資格の剥奪、特別選出議員の増員等が盛り込まれ、国民議会で議論が開始される見通し。

【外政】

○マシシ大統領、ケニアにて第6回国連環境総会に出席

2月29日～3月1日まで、マシシ大統領は、第6回国連環境総会(UNEA6)に出席するため、ケニアを公式訪問した。マシシ大統領は、同総会を通して、気候変動に関する決議を審議するとともに、ケニアのウィリアム・ルト大統領と首脳会談を行った他、ケニア動物遺伝資源センターを訪問した。

○マシシ大統領、ザンビア訪問

26日～27日、マシシ大統領はザンビアのリビングストーンを訪問し、ヒチレマ大統領と会談した。本訪問は、本年1月のヒチレマ大統領のボツワナ(カサネ)訪問に続くもので、二国間委員会の設立、カズングラ橋公社の設立、両国間の政治協議に関する覚書等、いくつかの合意が交わされた。

○エストニア大統領、国賓としてボツワナを訪問

4日～7日、カリス・エストニア共和国大統領がボツワナを国賓として公式訪問した。カリス大統領は、ボツワナ・デジタル・イノベーション・ハブ及びダイヤモンド・テクノロジー・パークを視察し、マシシ大統領と首脳会談を行った。

○ナミビア大統領のボツワナ訪問

12日～13日、ムブンバ・ナミビア大統領は、故ガインゴブ前大統領の追悼式典に出席するため、ボツワナを訪問した。追悼式に先立ち、ムブンバ大統領はマシシ大統領を表敬訪問し、両国の二国間関係を高く評価するとともに、団結、献身、同胞への配慮を象徴する指導者であったガインゴブ前大統領と深い信頼関係を築いたマシシ大統領を称賛した。

○バハマ首相のボツワナ訪問

18日～23日、デビス・バハマ国首相は、マシシ大統領の招待を受け、ボツワナを訪問した。同首相は、ボツワナ銀行、デジタル・イノベーション・ハブ、ボツワナ・ダイヤモンド・トレーディング・カンパニー、セレベ・ピクウェの柑橘類プロジェクト等の視察を行った。

○ボツワナ代表团、欧州で象牙猟禁止に反対するロビー活動を展開

英議会での象牙猟禁止法案の第2読会に向けて、ムティムクル環境・観光大臣は、英国、フランス、ドイツを訪問した。同大臣は、国際狩猟・野生動物保護協議会(CIC)のフランス代表团及びドイツ代表団の代表とそれぞれ会談し、ボツワナがトロフィー狩猟を停止した2014年から2018年にかけて、地域住民組織(CBO)の収入が大幅に減少し、雇用の見通しに悪影響が及んだと主張した。

【経済】

○S&P格付けの公表-ソブリン格付けは投資適格、見通しは安定的-

15日、S&Pは、ボツワナのソブリン格付けを、天然資源の手堅い管理、良好なバランスシート等を踏まえた強力な制度的枠組み(財政金融政策)に支えられ、長期的に「BBB+」、短期的に「A-2」と、いずれも投資適格とした。他方、見通しについては、ダイヤモンド需要と経済成長が比較的堅調に推移し、輸出と財政収入を下支えすることが見込まれ、「安定的」とした。なお、同社は、世界のダイヤモンド需要は相応の回復力を維持し、G7による対ロシア産ダイヤモンド制裁措置がボツワナのダイヤモンド輸出に大きな悪影響を及ぼすことはないと予測している。

○セレベ・ピクウェ柑橘類プロジェクト-農産品輸出に向けた一里塚-

3億プラを投じたセレベ・ピクウェ柑橘類プロジェクトは、3月第二週にUAEとサウジアラビアに最初の輸出品を発送し、最初の収穫の節目を迎えた。このプロジェクトは、現状のダイヤモンド採掘依存から脱却し、輸出収入を多様化することを目的としている。

○ボツワナ初の石炭ガス火力発電所が操業へ-電力輸出を視野-

独立発電事業者のトロウ・エネルギー社は、年内後半に、ボツワナ初となる石炭ガス火力発電所による商業発電を開始する予定。同発電所は、豊富な石炭ガス資源の埋蔵が確認されているセロウェ地区の西100キロメートル付近に位置し、同社は、国内電力網及び南部アフリカ電力プール(SAPP)と接続する独自の送電網の完成により、国内及び南部アフリカ域内に電力を販売する計画である。

○国債発行上限額の引上げ-300億プラから550億プラへ-

19日、国民議会は、政府(財務省)による財源の国内調達と財政赤字補填の余地確

保のため、今年2月に発行上限額(300億プラ)に達した国債発行額の上限額を550億プラに引き上げることを承認した。

○ AfCFTA新貿易ルール-4月1日より施行-

20日、貿易産業省は、アフリカ大陸自由貿易圏(AfCFTA)内における関税譲許(優遇)と原産地規則に係る公示を受けて、4月1日より、新しい貿易規定に則った貿易が開始されることを発表した。

○ カロエ・ダイヤモンド鉱山地下拡張事業化調査最新結果-鉱山寿命の延長に向け-

ルカラ・ダイヤモンド社によるカロエ・ダイヤモンド鉱山地下拡張事業化調査(F/S)の最新報告によれば、鉱山の寿命は2040年まで延長され、680万カラットのダイヤモンドが採掘される、としている。

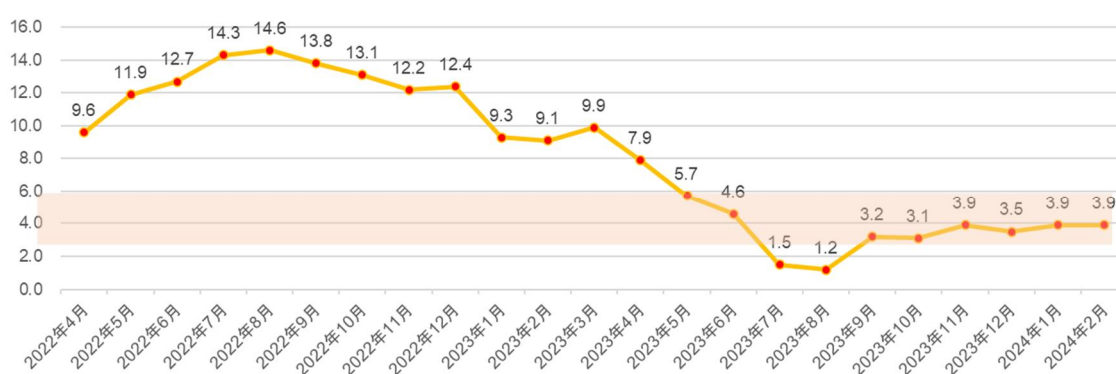
○ 2023年通期GDP(暫定値)-対前年比実質GDP2.7%増

2023年通期の実質GDP(暫定値)は、前年(同)比で2.7%増となった。これは、コロナ禍の影響を大きく受けた2020年を除くと、2016年以降、最低の成長率となった。これはダイヤモンド貿易部門が前年(同)比で29.4%のマイナス成長となったことが大きい。

○ 2月インフレ率は3.9%-前月から変動なし-

2月の年間インフレ率(前年同月比)は 3.9%となり、前月から変動はなかった。分野別寄与度は、運輸(0.9%)、食品・非アルコール飲料(0.8%)、雑貨・サービス(0.8%)であった。

(図: 近年のインフレ率の推移)



注: ボツワナ銀行中長期インフレ目標(3%から6%)

○ 貿易統計-5か月連続の貿易赤字-

1月、輸入総額は75.453億プラとなり、前月の66.796億プラ(改定値)から13.0%増加した。他方、同月の輸出総額は、48.499億プラとなり、前月の49.408億プラ(改定値)から

1.8%減少した。結果として、同月の貿易収支は、26.954億プラの赤字となり、昨年9月以降、5か月連続の赤字となった。

(分野別内訳: 上位5分野(%))

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	ダイヤモンド 23.8	燃料 17.9	食料品等 14.6	化学・皮革 11.7	機械・電機 10.2
輸出	ダイヤモンド 68.6	銅 17.8	機械・電機 4.3	塩・ソーダ灰 2.9	車両・運輸設備 1.4

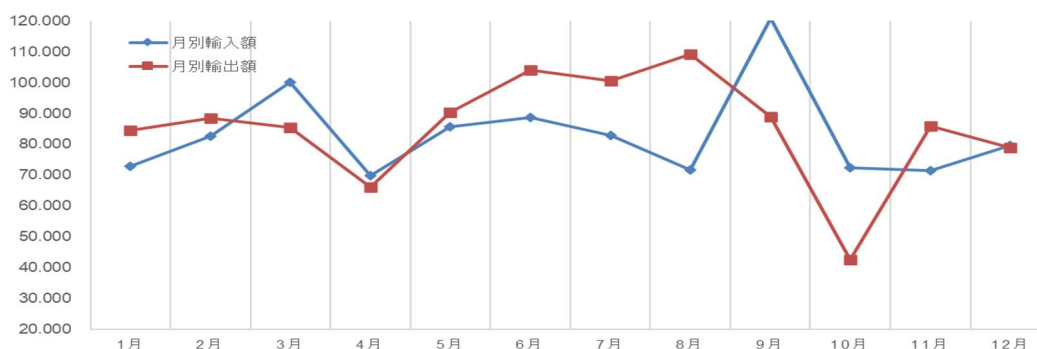
(国別内訳: 上位5か国(%))

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	南ア 57.6	ナミビア 16.1	カナダ 5.1	インド 3.3	ザンビア 2.7
輸出	UAE 26.2	インド 18.8	南ア 15.4	ベルギー 10.6	中国 9.1

○ 国際商品貿易統計-2023年貿易収支は赤字転落-

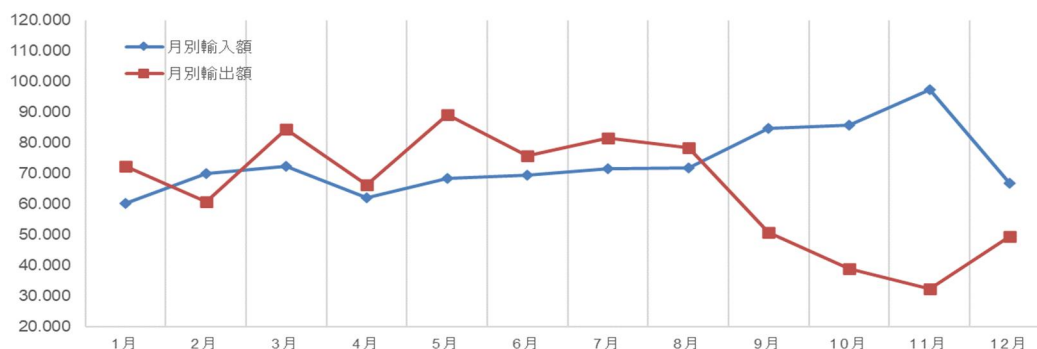
2023年の貿易収支は、同年9月以降の輸出額(主にダイヤモンド)の落ち込みにより、99.754億プラの赤字(前年は26.217億プラの黒字)に転落した。

(2022年貿易収支推移) 単位: 億プラ



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別輸入額	72,885	82,772	100,205	69,791	85,780	88,827	82,862	71,670	120,830	72,330	71,440	79,594	998,987
月別輸出額	84,463	88,416	85,492	66,068	90,451	104,044	100,616	109,141	88,873	42,678	85,960	79,002	1,025,204
月別貿易収支	11,578	5,644	-14,713	-3,723	4,671	15,217	17,754	37,470	-31,956	-29,652	14,519	-0,592	26,217

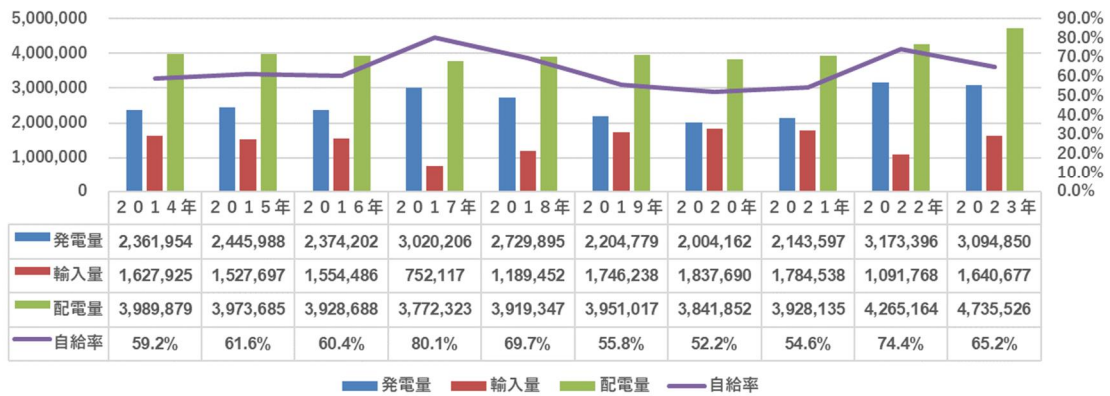
(2023年貿易収支推移) 単位: 億プラ



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
月別輸入額	60,307	70,023	72,504	62,158	68,411	69,472	71,724	71,988	84,697	85,719	97,355	66,796	881,153
月別輸出額	72,534	60,943	84,526	66,336	89,212	75,928	81,597	78,491	50,937	39,124	32,364	49,408	781,399
月別貿易収支	12,227	-9,079	12,022	4,179	20,801	6,456	9,872	6,503	-33,760	-46,594	-64,991	-17,388	-99,754

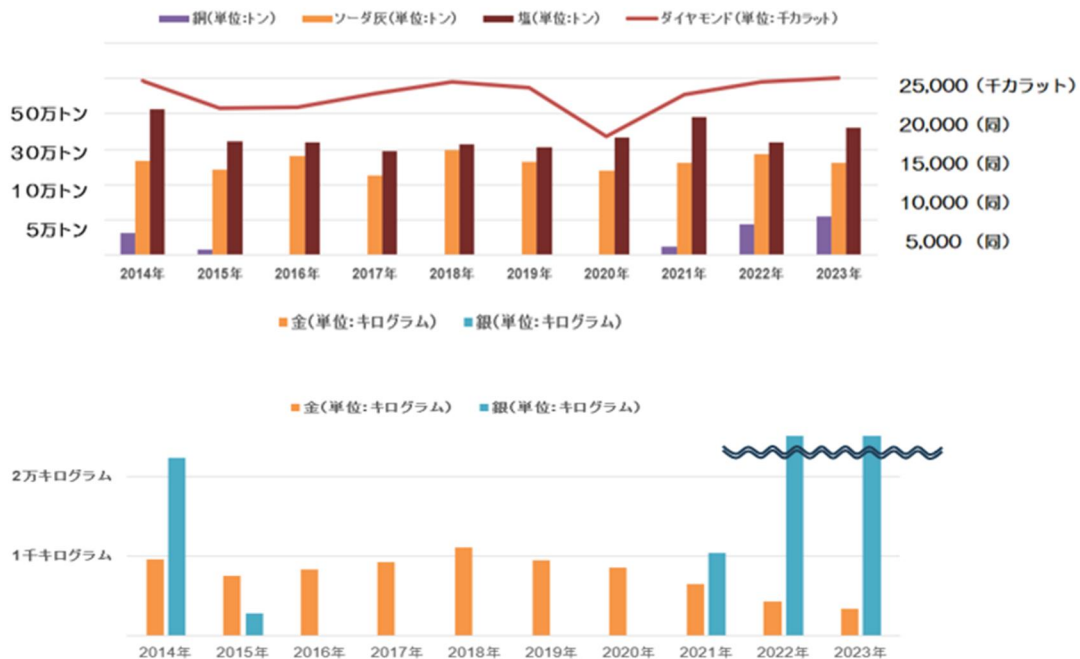
○ 電力統計(2023年末現在)

過去10年間の電力統計



○ 鉱業生産統計(2023年末現在)

(10年間の鉱物別生産高推移)



	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
ダイヤモンド(単位:キカラット)	24,658	20,823	20,892	22,941	24,496	23,686	16,868	22,696	24,479	25,095
銅(単位:トン)	32,093	8,396	NA	1,239	1,462	NA	NA	11,742	44,269	54,808
ソーダ灰(単位:トン)	268,529	243,369	280,457	226,667	297,237	264,119	238,476	261,838	285,215	262,052
炭(単位:トン)	515,311	404,295	399,837	369,613	392,244	383,779	418,379	484,628	323,303	387,956
金(単位:キログラム)	958	753	832	921	1,105	943	851	649	427	331
銀(単位:キログラム)	22,288	2,801	NA	NA	NA	NA	NA	10,383	31,174	42,955

【当館関連イベント】

○ 帰国留学生との懇談会及び新規留学生壮行会の実施

15日、元国費留学生(研究留学生、教員研修生)、新規国費留学生、当地外務省及び教育・技術開発省関係者等を大使公邸に招待し、ネットワーキング及び新規留学生の壮行会を行った。大森大使より、当地での人材育成支援について紹介したのに対し、教育・技術開発省からは国費留学制度を始めとする我が国の支援に謝意が表された。

小学校幼児教育棟建設計画の契約署名

13日、当館及びモホディツアネ・タマハ町役場にて、令和5年度草の根・人間の安全保障無償資金協力(ンコヤピリ小学校幼児教育棟建設計画)の贈与契約(G/C)の署名が行われた(署名は持ち回りにて実施)。本事業は同小学校敷地内に、幼児教育棟を新たに建設することにより、質の高い幼児教育を提供するもの。後日、同小学校敷地内にて起工式を実施予定。

○ BUANと北海道大学による学術交流協定(MOU)

22日、ボツワナ農業天然資源大学(BUAN)にて、BUANと北海道大学大学院獣医学研究院による学術交流協定(MOU)の署名式が行われた。今後、BUANにて、オンラインプログラムの実施や学生間交流等が行われる予定。北海道大学では、大学の世界展開力強化事業「アフリカと日本の架け橋となる次世代の人材を育成する国際獣医学・保全医学教育プログラム(IVCMEP)」(令和2年度文部科学省選定事業)を実施しており、これまでのザンビア大学との連携に加え、南部アフリカ諸国の大学でも同プログラムを実施予定。

(了)